

コロナの時代のYA読書は?

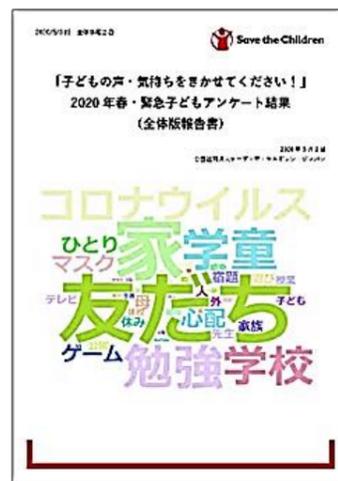
2020年の春は、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校や公共図書館がお休みとなり、臨時休業する書店もありました。出版業界も影響をうけ、出版社はリモートワークになり、印刷所等も時短営業。発売日は延期や未定になり、作家は取材に行けなくなり……と、予定の立てにくい毎日が続いています。

そんな中、ネットの世界では、貴重な資料や電子書籍などを期間限定で無料公開する企業・団体がたくさんあられました。また、話題のゲーム「あつまれ どうぶつの森」とコラボする美術館などもあり、知識や芸術への新たな入り口が若い人たちの身近な場所にあるのだと感じられました。

でも、やっぱり紙の本! 紙の手触りや実体のある本が作ってくれる静かでエキサイティングな時空間が恋しい方もいたと思います。皆さんの地域の書店や公共図書館、学校図書館は、いまどのような状況でしょうか?

教室での密を避けるためにクラスを増やし、図書室を教室代わりに使うことにした学校もあるようですが、教科授業に比べ図書室は後回しにされがちですが、司書さんが校長先生に対策を掛け合って、急遽、廊下に簡易図書コーナーをつかって貸出ができるように尽力されたところもありました。それぞれの学校で司書さんや図書支援員さんは工夫して対応されているようです。が、声を上げにくい雇用環境が、活動の足かせになっているところもあるようです。

「公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン」が3月に実施した「2020年春・緊急子どもアンケート」の中に、「学校の本を貸してほしかった」という小学生の回答がありました。小学生から18歳までの「子どもだからと言わないで、きちんと話を、きいてほしい」という思いの詰まった報告書は、セーブ・ザ・チルドレンのサイトで公開されています。



いまはそれどころではない、と耳を塞ぎたい大人がいるのも事実。人に本を手渡す立場にある人たちは、子どもや若い人の声をうまく聞いているでしょうか。意見を表明する権利、適切な情報を入手する権利も、「子どもの権利」のひとつです。「休息及び余暇」「遊び及びレクリエーションの活動を行い並びに文化的な生活及び芸術に自由に参加する権利」についても、制約の多いときだからこそ、より気にかけてほしいものです。

さて、適切な情報の入手、たとえば、大人も苦労がちです。「公益社団法人全国学校図書館協議会」のウェブサイトの「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策下における学校図書館の活動について」では全国学校図書館協議会や日本図書館協会、文部科学省による感染防止対策の「ガイドライン」のリンクの他、学校でできる対策や活動の工夫例、機関紙のアンケート結果などの情報のリンク集もあります。また、「学校が児童生徒に本を紹介する際の、表紙画像等の著作権について」では、児童生徒に本を紹介するときに、著作権法上気を付けたいことや各出版社の許諾対応などがまとめてあります。興味のある方は「全国SLA」で検索してみてください。

日本YA作家クラブ

Newsletter

Vol. 4

YAてつながろう!

CONTENTS

- ◆ 作家・翻訳家のお気に入り調査隊
片川優子さん・野沢佳織さん
- ◆ YA読書応援団!
コロナの時代のYA読書は?
- ◆ 募集とお願い



イラスト
ハツ木さん

このニュースレターは、任意団体である日本YA作家クラブが、みなさまからの寄付で作成し、無料配布しています。

目的は、(a) YAをPRする作家と翻訳家の会「日本YA作家クラブ」と、YA(ヤングアダルト)という言葉、概念を知っていただき、(b) 会員インタビューなどを掲載したウェブサイトhttp://jya.iinaa.netを案内すること。

対象は、(1) 子どもや若い人たちがYA書籍にふれる環境を整備できる立場にいる人——具体的には、公共図書館や学校図書館のスタッフ、教育・福祉関係者、書店員や本に関わりのある人、(2) その他、購読を希望する機関と個人です。

A3版両面刷りの「紙」版の他に、PDFファイル版があります。掲示用の印刷・複製可です。PDFファイル版は読書活動に関係する代表のかたにメールで配布しています。どうぞご利用ください。バックナンバーは閲覧用にWebで公開中です。

この紙面や当会のサイトが、YA読書に関わるみなさまのお役に立てればと思います。図書館や学校などの紙面の展示や閲覧、配布も大歓迎です。

YAとは、若い大人を表すヤングアダルト Young Adultの略称で、ワイエーと読みます。「子ども」や「学年」の枠にとらわれない若い人向けの本をYAと呼んでいます。

日本YA作家クラブ

Newsletter

第4号 2020年8月発行

代表世話人 金原瑞人 梨屋アリエ

お問い合わせはメールでお願いします。
jya.sakka@gmail.com



http://jya.iinaa.net

ニュースレターの
バックナンバーも
日本YA作家クラブ
のWebサイトで!

「日本YA作家クラブ」は、YA(ヤングアダルト)作品の作家と翻訳家の有志により2009年に発足しました。YA作品やYA関連の情報を、書店さんや司書さんや先生や読者の皆さんに広く提供することを目的とした、インターネット上でPR活動をする会です。

作家・翻訳家の お気に入り 調査隊

その1 作家の 片川優子さんの お気に入り、おしえてください!!

我が家のペット、メインクーンの「がんも」です。オスなら10キロを超えることもある大型猫種なのですが、若い頃に病気をしたので、4キロほどしかあり

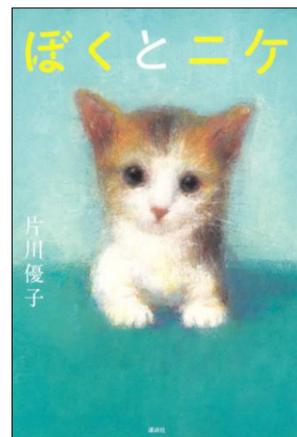


ません。
今年の3月に夫と2人で愛知県に動物病院をオープンしたのですが、とてもマイペースで物怖じしない性格のため、診察室や待合室を自由に歩き回っています。受付で置物のように座り、入ってきた飼い主さんにびっくりされることも。近頃の彼女のマイブームは、モップを追いかけることと、洗面所の自動水栓で勝手に水を出して遊ぶこと。お風呂も大好きで、湯船の蓋の上でよく寝ています。
去年生まれた娘(人間)に絡まれても平然と寝ているのですが、あまりにしつこいと応戦します。はじめの頃は加減がわからず、娘の顔を引っ掻いて傷を作り、泣かせていました。だんだんと加減がわかってきたようで、最近では爪をしまったまま目にも止まらぬ速さで娘の両頬に猫パンチを喰らわせていました。犬猫のしつけはタイミングが何より大事、とはよく聞きますが、あのスピード感はなかなか人間には真似できないな、と感心する速さでした。
ほかにも、猫「天むす」(メインクーン・メス・7キロ)、犬「オグトー」(シェルティ・オス・12キロ)を飼っているのですが、天むすはオグトーに強く、オグトーはがんもに強く、がんもは天むすに強

いという、じゃんけんのような関係が成り立っています。

片川優子さんの 最近のYA作品のことも おしえてください!!

YAではありませんが、講談社のFRaUというサイトで、毎月「ペットと生きるために大切なこと」というコラムを連載しています。我が家の犬猫たちの写真も時々登場するので是非チェックしてみてください!
<https://gendai.ismedia.jp/list/author/yukokatakawa>



近著 小5男子と猫の物語『ぼくとニケ』(講談社刊)

お気に入り調査隊

その2 翻訳家の 野沢佳織さんの お気に入り、おしえてください!!

12歳の夏、昼下がりにぼうっとテレビを見ていたら、真っ白な衣装を着た、背の高い長髪のお兄さんが出てきて、熱く歌いだした。
♪君が望むなら生命をあげてもいい
あ、カッコいい♡
♪その瞳、僕のもの この体(クルリ回転)君のもの(「情熱の嵐」)
胸、ズキュン!!
こうして私は、ヒデキこと、西城秀樹さんのとりこになった。
当時の彼はアイドルのひとりで見られていたけれど、コンサートでは洋楽を積極的にカバーし、日本人歌手で初めて武道館で単独ライブを行い、夏の球場コンサートとともに約10年間続けた。



日本音楽著作権協会(出)許諾第2005996-001号 JASRAC許諾第J200728247号

アジア諸国にもいち早く進出した。スタンドマイクを蹴り上げたのも、ファンにペンライトで応援されたのも、彼が最初だった。1990年代になって彼のロック魂が再評価され、年下のアーティストらによるトリビュートアルバムが完成。Yoshikiや河村隆一といった時代の寵児たちから、曲の提供も受けた。
ヒデキの存在と歌声に私はずっと励まされ、癒されてきた。中2の初夏、母が入院している病院への道をとぼとぼ歩いていたとき、すれ違ったトラックから彼の歌う「激しい恋」が流れてきて、少し元気になった。高1の秋、過敏性腸症候群で不登校寸前だったけれど、毎朝、頭の中で「若き獅子たち」を再生しながら駅へ向かった。30代で翻訳家を目指したときには、アルバム曲「プロローグ」の「この若さ残るうちに遠くへゆきたい」という歌詞に励まされた。驚いたのは数年前の早春、重病の父を病院に見舞い、沈んだ気持ちで車を運転して帰る途中、カーステレオから流れてきた彼の「もう君は夢におびえることはない」という歌声に涙があふれたことだ(曲名は「愛する」)。50歳を過ぎた私が、彼の21歳の頃の歌声に癒されていた……。

ヒデキはは2018年に青い空の彼方

へ旅立ってしまったけれど、私の心の中に生きている。(写真は、一番よく聴いたLPレコード3枚)

野沢佳織さんの 最近のYA作品のことも おしえてください!!



『ソングジュの見た星』(リ・ソングジュ著 徳間書店刊)は、16歳で脱北した著者による、自伝的なノンフィクション作品です。
首都、平壤で幸せに暮らしていた少年、ソングジュは、軍人だった父が失脚したため地方へ引っ越し、深刻な食糧不足のなか、両親と離れ離れに。仲間と、盗みをしながら路上で必死に生きのびます。北朝鮮に暮らす人たちの顔が見え、声が聞こえてくる、貴重な一冊です。



募集とお願い

★次号の「表紙イラスト」ボランティアさん募集中!
イラスト描きが得意な30歳未満のアマチュアのかた。YA小説の表紙っぽい絵や、中高生や若い人が好むタッチの絵柄で、オリジナルのモノクロのイラスト。絵のサイズはB6サイズぐらいで四方が直線のもの。紙に手描き・デジタルどちらでも可。掲載の場合、薄謝として1000円分の図書カードを差し上げます。まずはご連絡ください。第4号の表紙イラストはハツ木さんにご協力いただきました。

★「YA読書応援団!」情報募集中!
YA(人・本)やYAの読書活動を応援しているグループや団体を当会員が取材して、ニュースレターで紹介していきます。YA読書応援団と呼べる活動をされているかたについてぜひ情報をお寄せください。

★ニュースレター個人購読登録(送料+カンパ)とご寄付のお願い
直接受け取りを希望されるかたは、購読登録にご協力ください。カンパ含めて「5号」と「6号」分の送料として下記の口座に1000円ご入金の上、送付先の住所とお名前をお知らせください。1部ずつ郵送いたします。第5号は2021年1月ごろ発送予定です。2部以上ご希望のかたはご相談ください。
ニュースレターはみなさまからの寄付で作成、配布しています。印刷費用以上に送料や雑費などの経費がかかります。日本YA作家クラブの活動にご賛同いただける会員、非会員のみなさまに、ご協力をお願いします。お振り込み手続き完了後に必ずメールでご連絡ください。

銀行振り込みの場合
ゆうちょ銀行 ○ニ八店(ゼロニハチ店)
普通0406075 名義YARC
郵便局からご送金の場合
番号10250-406075 | 名義YARC

「日本YA作家クラブ」会員のインタビュー、Webで公開中 <http://jya.iinaa.net>

インタビューは「日本YA作家クラブ」サイトよりと明記があれば、図書便りなどに転載OK

日本YA作家クラブ会員(50音順敬称略 2020年6月末)

石川宏千花	栗沢まり	新城カズマ	原田勝
石飛千尋	黒川裕子	しんやひろゆき	藤野恵美
大島恵真	香坂直	代田亜香子	誉田哲也
香谷美季/篠原美季	神戸遥真	たからしげる	松山美保
片川優子	越水利江子	立原透耶	宮下恵葉
風野潮	後藤みわこ	中村浩美	森川成美
金原瑞人	こまつあやこ	梨屋アリエ	横山充男
河合二湖	三辺律子	那須田淳	寮美千子
如月かずさ	鹿田昌美	西田登	令丈ヒロ子
木村航	しのざきこういち	野沢佳織	
朽木祥	篠原まり	花形みつる	

ご協力ありがとうございました。

協力・岩田奈津子様、大島恵真様、こまつあやこ様、しんやひろゆき様、代田亜香子様、長友恵子様、野沢佳織様、山口鈴江様(50音順 2019年12月~2020年6月末)
編集アドバイザー・門田奈穂子(YARC)
校閲・神戸遥真(敬称略)
編集・デザイン 梨屋アリエ



編集後記 2月には「この1、2週間が極めて重要」と言われていた新型コロナウイルス、この夏も終息する気配はありません。イベントの中止により第3号の配布もストップしたままで、今号は延期すべきか迷いましたが、学校や図書館が再開したこともあり、皆さんの気晴らしになればと思い、発行することにしました。第4号のご感想、ご要望、活用例など、メールやSNSでお聞かせください。(梨屋)